

中大クロニクル ～もっと知りたい！大学史～

Vol. 2

大学史資料館 第2回企画展

「中央大学創立140周年記念展示 140年のあゆみ」

2025年7月8日(火)に中央大学は創立140年を迎えます。中央大学は1885年に英吉利法律学校として創設されました。その後、東京法学院、東京法学院大学と改称し、1905年に中央大学となります。

中央大学大学史資料館の第2回企画展は、創設より140年の歴史を刻んだ大学の節目を記念して「中央大学創立140周年記念展示 140年のあゆみ」を2025年7月8日(火)より開催いたします。

本学は、法律学校から3科総合大学、そして戦後の文理総合大学、さらに近年のグローバル教育と高度専門職業人養成の展開という中で、3度の罹災、戦争、大学紛争、キャンパス移転、夜間部や研究科の廃止など、数多くの困難に直面してきました。そのたびに在學生と教職員、そして卒業生が連帯して乗り越えて140年の歴史が刻まれました。

本展では、そのあゆみを大学史資料館が所蔵する資料から全4章で振り返ります。

第1章「140年の歴史」では、3つのテーマから140年のあゆみを紹介します。学部や専門職大学院

の展開を中心に整理した本学140年のあゆみ、駿河台の地で歴史を刻んできた本学のあゆみ、創設の趣旨に述べられた本学図書館のあゆみという、過去から現在に至る本学のあゆみを振り返ります。

第2章「中央大学の展開」では、学部や専門職大学院ごとの歴史から本学140年のあゆみを紹介します。8つの学部、2つの専門職大学院、そして通信教育課程の特色ある展開をたどります。

第3章「大学史資料館の所蔵資料」では、資料保存等の観点から普段は展示していない当館が所蔵する貴重な資料を展示します。

第4章「中央大学創立140周年史」では、過去の周年史を振り返るとともに、2025年12月発行予定の最新の周年史事業を紹介します。

本展では、資料館で直接ご観覧いただけない全国のご父母や学員の皆さまに向けて、ご自宅でもご観覧いただけるようインターネットで企画展を公開します。本学140年のあゆみをぜひご観覧ください。

中央大学創立140周年記念展示
140年のあゆみ
2025.7.8 tue - 2026.4.27 mon
中央大学 大学史資料館
The Museum of Chuo University History

中央大学創立140周年記念展示
140年のあゆみ
2025年7月8日(火) - 2026年4月27日(月)
中央大学



初代校長の増島六一郎はイギリス留学中に「パルスター・アート・ロー」(法廷弁護士)の資格を取得し、イギリス式の法服やパルスターウィック(法廷衣装)を制作しました。



本展は2025年7月8日(火)よりインターネットからでもご観覧いただけます。